

答申書

大月市においては、2027年度を目標年次とする大月市第7次総合計画を策定し、基本構想の実現のため具体的な施策の内容を示す基本計画により市政を推進することとされています。

本計画は、第6次総合計画の基本理念である「信頼と協働のまちづくり」を継承し、「ひとと自然をいかし、希望のもてる未来をみんなで実現していくまち 大月」を目指すものであります。

当審議会は、今回諮問された総合計画について慎重に審議した結果、次の意見・要望を反映した基本構想（案）として取りまとめましたので、別添のとおり答申いたします。

【意見・要望】

意見 第6次総合計画の終期が2016年度であるにも関わらず、何故第7次計画は2018年度スタートなのか説明しないと、わからないので、記載すべきである。

意見 2017年度に小中学校のエアコンが整備された。教育環境が良くなったということで、記載した方が良いと思う。

意見 将来像が「ひとと自然をいかし、希望のもてる未来をみんなで実現していくまち 大月」に決まったところで、説明文の中に「希望」「未来」という表現を追記すれば、将来像とリンクしてくる。「未来に希望が持てるまち」というような表現をお願いしたい。

意見 将来像の説明のなかで協働を共有するとあるが、重要なのは情報を共有することである。
情報を迅速に発信し、情報を共有することで市民と行政の信頼関係が強くなり、信頼と協働のまちづくりも進んでいくため、盛り込んでいただきたい。

意見 協働のまちづくり（行財政運営に関わる分野）とあるが、一番大きい基本理念に「信頼と協働のまちづくり」とあるので、ここは変更したほうが良い。

意見 土地利用方策の検討について、特定の場所のみの記載に感じる。もう少し全体的な表記にした方が良い